

2009年1月6日

シンポジウム・研究ネットワークミーティング基金によるワークショップ  
実施報告書

環境情報学部 加藤文俊

- ・ 研究題目：あたらしい「場」の創造（ワークショップ）
- ・ 日時：2008年12月11日（木）15:00～21:30 および 12日（金）10:00～14:00
- ・ 場所：エントランスハウス（キャンパスより徒歩10分）  
※エントランスハウスは、松原弘典研究室のプロジェクトの一環として整備、改装された。本年3月まで、貸しスペースとして開放されていることを知り、今回のワークショップの会場として利用した。
- ・ 参加者：教員 1名 ゲスト講師 3名 学生 23名（塾生 19名；その他 4名）  
※参加者リストは次頁を参照

・ 内容

本ワークショップにおいては、創造的なコミュニケーションを喚起する学習環境のデザインに関する実習をおこなった。参加者は、ゲスト講師によるプロジェクト紹介（講演）に引き続き、〈その場〉で出された課題に取り組んだ。課題が完成した学生から、順番に3名の「審査員」（加藤+ゲスト講師ら）の前で1分間のプレゼンテーションをおこない、全員が「合格」の判定を出すまでくり返す。いわば、知的な「瞬発力」について、体験的に考えるためのワークショップである。時間的な制約の中で、同じ課題に取り組む他の参加者との協調/競争関係を意識しながら、タスクの遂行を試みることになる。

いささか乱暴な実験ではあるが、キャンパスにおける従来型の「教室」ではなく、あたらしい学習環境を構成しながら、発想、企画の整理、さらにプレゼンテーションという一連のプロセスを

参加者は基本的には加藤文俊研究会の所属メンバーであった。若干の事前告知をしたので、他にSFCの学生が2名参加した（初日のみ）。また、初日の

基金は、すべてゲスト講師（オオニシタクヤ氏）の旅費および宿泊費に活用した（使用明細書を添付）。

なお、本ワークショップの概要および経過については、下記にまとめ、公開している。

<http://camp.vanotica.net/08F/081211/>

また、SFC CLIPにも本イベントの様子が掲載された。

<http://sfccclip.net/series2008121901> （2008/12/19 発行）

<http://sfccclip.net/series2008122601> （2008/12/26 発行）

## ワークショップ参加者リスト

### ゲスト講師

- \* オオニシ タクヤ ( launchpad05 )
- \* 山崎 亮 ( studio-L )
- \* 長岡 健 ( 産業能率大学 )

### 加藤文俊研究室

- \* 青山 貴行
- \* 市川 友美
- \* 伊藤 翔
- \* 臼井 隆志
- \* 内田 諭
- \* 生出 淑子
- \* 加藤 文俊
- \* 川島 史
- \* 桑子 周造
- \* 武島 千恵
- \* 出縄 恵
- \* 仲尾 千枝
- \* 野辺 さやか
- \* 藤井 瑤
- \* 藤井 裕之
- \* 南 美帆
- \* 美馬 弘宜

### その他

- \* 松本 智之
- \* 五十嵐 正宏
- \* 村上 詩央里

### 長岡ゼミ ( 産業能率大学 )

- \* 小菅 茂弘
- \* 須藤 貴道
- \* 萩原 祥平
- \* 藤森 奈緒